

令和7年12月22日 ~ 令和7年12月28日

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ (定点当たり患者数)

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 52 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		50 週		51 週		52 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
インフルエンザ定点		56.40	警報	70.40	警報	47.00	警報	22.77	警報	35.84	警報	47.00	警報	30	10	10
COVID-19		1.00		1.20		0.80		1.32		0.47		0.80				
急性呼吸器感染症（ARI）		72.80		95.20		67.60		73.43		83.18		67.60				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.00		0.33		0.00		0.73		0.06		0.00				
	咽頭結膜熱	1.33		0.67		0.33		0.37		0.48		0.33		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.67	警報	7.00	警報	5.00	警報	2.80		1.81		5.00	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		2.00		0.00		5.59		3.39		0.00		20	12	
	水痘	0.00		0.00		0.00		0.41		0.45		0.00		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.06		0.10		0.00		5	2	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	2.00	警報	0.67		0.67		0.43		1.13	警報	0.67		2	1	
	突発性発しん	0.67		0.67		0.33		0.22		0.29		0.33				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.03		0.06		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		1.00	警報	1.00	警報	0.00		0.13		1.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	5.00	警報	2.00		6.00		0.54		1.63		6.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	1.00		0.00		0.00		0.71		0.25		0.00				
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎（ロタウイルスであるものに限る）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載（県作成速報：診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第52週】 百日咳 患者1名(10代・女性)

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆インフルエンザに注意しましょう。

第52週の管内の定点当たり報告数は47で、警報レベルの報告数が続いています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。

1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などが起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

☆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう。

管内においては、警報レベルの報告が続いています。本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。